

# AS 絆レポート

2024 年第 9 号

空と海が合言葉

IFA 様とエアーズシー証券を結ぶ絆レポート

## 目次

- |                 |      |
|-----------------|------|
| 1. IFA のご紹介     | …2P  |
| 2. ヘッジファンドニュース  | …8P  |
| 3. みんなの広場       | …16P |
| 4. ヘッジおじさんのつぶやき | …17P |

8 月 23 日 発行

会社名：エアーズシー証券株式会社

関東財務局長（金商）第 33 号

加入協会：日本証券業協会

作成者：営業推進部



# IFA のご紹介

当社とパートナーシップを結ばれた I F A やご活躍されている I F A をご紹介いたします。



倉成代表（弊社応接室にて撮影）

## <<<会社概要>>>

会社名：UBUNTU 株式会社

住所：東京都港区赤坂 2-5-8 ヒューリック JP 赤坂ビル 6 階

設立年月日：2021 年 4 月 1 日

HP アドレス：<https://ubnt.co.jp/>

提携証券：あかつき証券、エアーズシー証券、東海東京証券

代表者：倉成 雄介

金融商品仲介業 関東財務局長（金仲）第 963 号

エアーズシー証券では、IFA の皆様向けに会報誌「絆レポート」を年 4 回程度発行しております。

この度、第 9 号の企画として UBUNTU 株式会社の倉成代表にインタビューをお願い致しました。

（聞き手は弊社・狩野）

**狩野** まず、はじめに倉成代表のご経歴をお聞かせいただけますか。

**倉成代表** 私のファーストキャリアは塾講師です。中学生に勉強を教えることにやりがいを感じて、どっぷりと浸かってほぼ週 7 日勤務しておりました。

私自身、学習が苦手でしたが大学受験を機に学習することに目覚めました。できないところからできるようになることを子供たちにも教えてあげたいとの思いがありました。子供たちの学力がどんどん上がることに喜びとやりがいを感じていました。

しかしながら、30歳代になりこのまま人生を塾講師で終わらせてよいものかと思うようになりました。

そのような時に転職エージェントから野村証券を紹介され入社することになりました。

はじめは苦勞しましたが目標を結果目標から行動目標に変えてから結果が出てくるようになり全セールスの1割しか参加できないハイレベル研修に参加できるまでになりました。

その後 CEO 賞も表彰され、順調に経験を積んでいきました。

そして、2020年10月に IFA（個人事業主）として独立し、2021年4月に UBUNTU 株式会社を創設し、2022年7月に関東財務局から金融商品仲介業の認可を得て、現在経営しております。

**狩野** 倉成代表が IFA を目指すきっかけは何だったんでしょうか。

**倉成代表** 野村証券で7年の時が経った辺りから少しずつ独立したいという気持ちになってきました。独立しようと思った理由はいくつかありました。

1つ目は、「お客様本位の提案」を実現するためです。

野村証券も営利企業なので営業ノルマがどうしてもでてきてしまいます。

本来これをやりたいと思っていても別のものをやらざるを得ないところもでてきてしまっていました。その点、IFAは複数の証券会社と提携を行うことが可能となり、お客様も多くの商品ラインナップから比較検討し、商品の購入を行えますので、「お客様本位の提案」に近づけると感じたためです。

そして2つ目は「プレーヤーだけではなく経営やマネジメントもしたい」という想いです。塾講師時代は教室長も長く経験していたため、教室運営や講師のマネジメントも任されていました。教室の経営の面白さも経験していましたし、講師は大学生が多く、育てる必要があったので、マネジメントの面白さも経験していました。

また、野村証券時代は FA として経験を重ね、資産運用だけでなく、承継やタックスプランニングや不動産等ビジネスマッチングの提案の幅も広げました。自身の経験を他の方にも提供し育成したい、マネジメントしたいという気持ちが芽生えました。

3つ目は環境的な要因なのですが、コロナ禍を迎えたことにあります。当時は対面での営業を控えるようにという会社の方針があり、電話のみでお客様フォローを行っていました。一方で、当時所属している支店までは通

勤をしなければならず、この通勤時間のロスに加えて、看板である野村證券の名刺も自分の顔も見せられない中で、営業活動を行うのは非効率だと感じ、独立を決意しました。

**狩野** 御社の経営理念をお聞かせいただけますか。

**倉成代表**

【VISION】は『-For stakeholders-必要とされる存在』です。

これはお客様だけではなく、弊社のメンバーもそうですし、その家族もそうですし、提携しているパートナー企業の方々もそうですし、弊社に関係している方々全てに対して、必要とされる存在になることです。

【MISSION】は『五者の精神を金融に』です。

五者は元々教育者に求められることですが、

「医者」「学者」「易者」「芸者」「役者」になります。

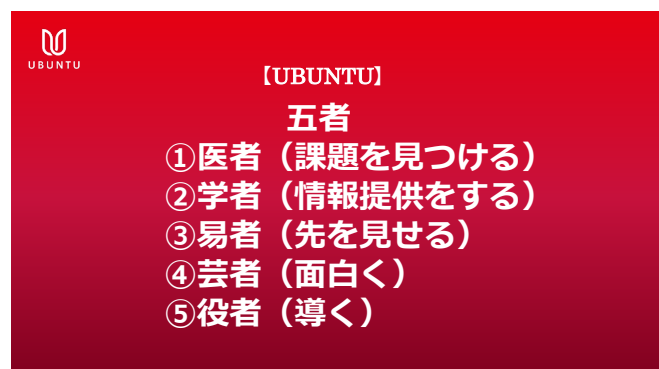
この五者は金融にも必要だと思い、こちらを掲げました。

【VALUE】は『誠実に取り組むこと』、『向上心を持つこと』です。

『誠実』であれば、お客様の為に努力できますし、クイックレスポンスになるでしょうし、約束も守れますし、誠実というキーワードでいくらでも派生できます。

『向上心』があれば、生涯成長しますので、より良い IFA になっていきます。

## -経営理念-



**狩野** 御社の目指す I F A 像とはどのようなのでしょうか。

**倉成代表** 弊社の【MISSION】・【VALUE】ができる方だと思っています。

**狩野** エアーズシー証券を提携先としてご指名頂いた理由をお教えいただけますか。

**倉成代表** 一言でいうと「希少性」ですね。大手証券会社の商品ラインナップでは足りないものがあると感じていました。例えば投資信託でもロングオンリーの商品しかない。上昇相場の時はよいが、下落相場になると傍観するしかない。ショートを組み込んだ商品がおお客様のポートフォリオの中には必要だと思っていました。また、世界的に著名なヘッジファンドはほとんどがクローズドになっていますが、そのような価値のあるヘッジファンドをお客様に持ってほしいという思いもありました。エアーズシー証券はクローズドになっているような希少性が高い著名なヘッジファンドを多く取り揃えていましたので、提携するととても価値があると思いました。

**狩野** I F A 業界について思うことをお聞かせいただけますか。

**倉成代表** 現在 I F A として登録している方が約 7000 名。2、3 年前までは一気に登録人数が増えましたが、ここ最近では微増になってしまっていることは課題だと思っています。そもそも今まで増えてきたのは私もそうですが証券会社から I F A 転換でした。証券会社からの I F A への転換理由は『ノルマ営業への違和感』『限定された商品サービスへの違和感』等が主にあるかと思います。しかし、ここ最近では証券会社からの I F A 転換の勢いに陰りが見えてきていると思っています。理由は証券会社による I F A 転換者への風当たりが厳しくなっていることにあると思っています。また、大手証券会社では異業種から証券ビジネスに携われるようにする FA 制度をなくしてしまったので、I F A 業界がその代わりを担っていかないとならないと思っています。

そうすれば、課題である I F A 登録者数の劇的な増加につながると思っています。

しかし現状大手の I F A 業者は即戦力である証券出身者を中心に採用していますので、証券出身でないとなかなか参画が難しい状況です。したがって、弊社がさがしげにならないといけないという想いで異業種からの参画を積極的に受け入れています。

私は証券リテール経験者と未経験者で将来的にはどちらが活躍するかは分からないと思っています。例えば、新卒で証券会社に入社して10年目の人と他業種を10年経験して証券業界に入ってきた人を比べた場合、当初は証券リテラシーに大きな差があるため収益実績も差がでます。しかしながら、証券リテラシーだけを除いて考えれば社会人経験はともに10年間であり同じです。

いずれは証券リテラシーも追いつきますので、異業種出身の中途入社組の方が活躍することもあります。この現象は野村証券でも実際に何度も見てきました。私もその一人だと自負しています。

私自身がそういった経験をしていますし、元々マネジメントをしていましたし、そもそも塾講師で教育のスペシャリストだったものですから、弊社では、証券リテラシーの育成プログラムを作り、証券未経験者も同じように活躍できる環境をつくりました。今では、野村証券で見られたような『証券未経験者が証券リテール経験者より活躍する』という逆転現象がよく起きております。

また、現在多くのIFA法人ではプレイヤーにしか焦点が当たっておらず、マネージャーが輝ける業界ではない状況もIFA業界が微増にとどまっている原因の一つだと考えています。弊社ではグループ長制度というものがあがり、マネジメントをしながらも常にプレイヤーとしても成果を残せるプレイングマネージャーが多く活躍しております。

色々と述べてきましたが、私はこのような考えから、業界トップのIFA数を目指していこうと思い、経営戦略を『組織拡大』としています。証券リテール経験者のみ採用していれば自ずと、パイは限られてきますが、弊社は異業種からも採用しますのでマーケットは無限大である為、この経営戦略は達成できると思っています。また、全メンバーでスケールするメリットを共有しています。スケールメリットの一例を挙げると弊社では各IFAの案件をすべてスラックで共有しておりますので、規模が拡大していけば共有の数が増え、それらを参考にすることで提案や活動の質が上がり、さらにより良い情報を入手することができるという良いサイクルが生まれます。また、知名度が向上すればお客様からの信頼も獲得できると見込んでいます。さらに提携のパートナー企業の数も増え、お客様により良いサービスを提供する機会にもつながると考えております。

こうした弊社の動きがIFA業界の幅をどんどん広げていくと思っていますし、IFA業界の新たな流れをつくっていけたらなと思っています。

**狩野** 最後のご質問になりますが、弊社は発展途上の会社です。これからも発展していくため、弊社に期待することを教えてくださいませんか。

**倉成代表** エアーズシー証券には『希少性』ということに特化して行ってほしいと思っています。他の証券会社では扱えない希少性の高いオルタナティブのサービスをこれからも導入してほしいですね。

また、エアーズシー証券の良さはスピード感、クイックレスポンスで対応してくれるところだと思います。これからもそこは大事にさせていただけるとありがたいです。

**狩野** 本日は貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。倉成代表からのご意見を真摯に受け止め、弊社としても今後ますます精進していく所存です。重ねて御礼申し上げます。



→倉成代表と弊社聞き手狩野（弊社受付にて撮影）

#### インタビュー担当者後記

「IFAのご紹介」を最後までお読みいただきありがとうございます。倉成代表のIFAビジネスに対する情熱と経営理念をいかにして文中で皆様にお伝えできるのか苦心しました。どのように感じいただけましたでしょうか。ご参考になれば幸いです。（石津）

# ヘッジファンドニュース

## 「相場急落時のヘッジファンド」

皆様、本日もこのページをご覧頂きありがとうございます。

今回は、株式相場の急落時のヘッジファンドの役割について考えてみたいと思います。

7月までの株式相場は上昇基調にありましたが、8月5日の日本市場で日経平均がブラックマンデー以来、約37年振りの下げ幅を記録するなど、調整局面に入ったとも言われています。今後の株式の値動きに関しては不透明な点も多くありますが、相場急落時のマーケットの動きについて考えてみたいと思います。

少し前の話になりますが、2024年7月13日（日本時間14日）のトランプ前大統領への銃撃事件をヘッジファンドの目線ではどう考えるかのお話をさせて頂こうと思います。

### 1-1. トランプ銃撃事件の相場変動

- トランプ前大統領の銃撃事件：

先日、ペンシルベニア州で開催された選挙集会において、トランプ前大統領が銃撃されるという衝撃的な事件が発生しました。この事件は、私たち全員に深い影響を与え、政治的な不安定性が市場にもたらす影響を改めて考えさせられる出来事でした。

- この事件は極めて衝撃的であり、米国のみならず世界に影響をあたえました：

政治的不安定性が市場に与える影響は計り知れません。投資家の心理は揺れ動き、株価は変動し、リスク管理の重要性が一層増しています。

- \* 銃撃の報道直後、米国株式市場は急落し、特に S&P

500 指数は約 1.2% の下落を見せました。

投資家達はこの事件による政治的不安定性の増加を懸念し、安全資産へのシフトを図りました。





- \* 安全資産としての金の需要が高まり、金価格は急騰しました。金価格は約 2.5%上昇し、1 オンスあたり約 1,980 ドルから 2,030 ドルに上昇。
- \* 投資家はリスク回避のために米国債に資金を移動させたため、10 年物米国債の利回りは低下しました。具体的には、利回りは 3.85%から 3.75%に約 10 ベーシスポイント低下。
- \* 市場の不安を示すボラティリティ指数（VIX）は急上昇しました。VIX は約 18 から 24 へ、33% の上昇を見せ、市場の不安感が顕著に表れました。
- 例えば、過去の政治的な出来事が市場に与えた影響を振り返ってみると、その重要性がよく分かります。次節ではその例を見てください。

## 1-2. トランプ・トレード

- 米国の投資家は、今年の米大統領選挙は大きな波乱なしで進むと予想していました。有権者はバイデン大統領とトランプ前大統領をよく知っており、最後まで接戦が繰り広げられるとみていました。しかし 6 月の第 1 回討論会でバイデン氏が精彩を欠いたことで状況は一変。さらに 7 月 13 日にはトランプ氏の暗殺未遂事件が起きました。
- トランプ氏は現在勢いに乗っています。
  - \* 世論調査で支持率は現在 47%へ上昇中、バイデン大統領は 44%へ下降中。
  - \* トランプ氏の再選確率も 16 日時点で 69%と、1 カ月前の 53%から上昇。
  - 民主党の現職バイデン大統領は 28%と、6 月半ばの 44%から低下。
  - \* トランプ氏が機密文書を不適切に所持・管理していたとされる裁判は、連邦地裁が公訴を棄却。
  - \* そして銃撃事件で負傷したトランプ氏は政治的な立場を問わず全国民から同情を集めています。
- トランプ氏が大統領に返り咲いた場合の政策を考慮して株式や債券、通貨などに賭ける「トランプ・トレード」はこうした状況下で復活。トランプ氏が返り咲けば規制緩和と保護貿易主義政策、それに伴うインフレ圧力・物価高から恩恵を受ける取引が活発化するとの見方を織り込み中です。具体的にはドル高、米国債利回り上昇、銀行・ヘルスケア・エネルギー関連株の上昇などです。

## 2. 政治的不安定性が市場に影響を与えた過去の例

- 政治的不安定性が市場に与える影響については、投資家の心理、株価の変動、リスク管理の重要性などチェックすべきポイントが多岐に渡るため、過去の例を具体例をお示したいと思います。

## 1. ブレグジット (Brexit)

**概要:** 2016年6月23日の英国のEU離脱 (Brexit) を決める国民投票。

**影響:** 投票直後、英国ポンドは対米ドルで約10%急落し、FTSE 100指数は一時的に大幅下落。

投票結果後の数日間で、世界中の株式市場は合計で約2兆ドルの損失を記録。

**データ:** ポンド/ドルの為替レートは1.50から1.32に急落しFTSE 100は数日間で約3%下落。

## 2. アメリカの政府閉鎖

**概要:** アメリカの予算が通らず、政府が閉鎖される事態。

**影響:** 2018~2019年の35日間に及ぶ政府閉鎖は米国の経済活動を停滞させ、S&P 500指数は閉鎖期間中に約2.5%下落。

**データ:** Moody's Analyticsによると政府閉鎖により約30億ドルの経済損失が発生したと推定。

## 3. トランプ政権の貿易戦争

**概要:** 2018年から始まったアメリカと中国の貿易戦争。

**影響:** 両国が互いに関税をかけ合う中で、株式市場は大きく揺れ動いた。特にテクノロジー株は大きな影響を受けた。

**データ:** 2018年のS&P 500指数は年間で約6.2%下落。特に2018年10月から12月にかけて、S&P 500指数は約14%下落。

## 4. ギリシャの債務危機

**概要:** 2010年に始まったギリシャの国家債務危機。

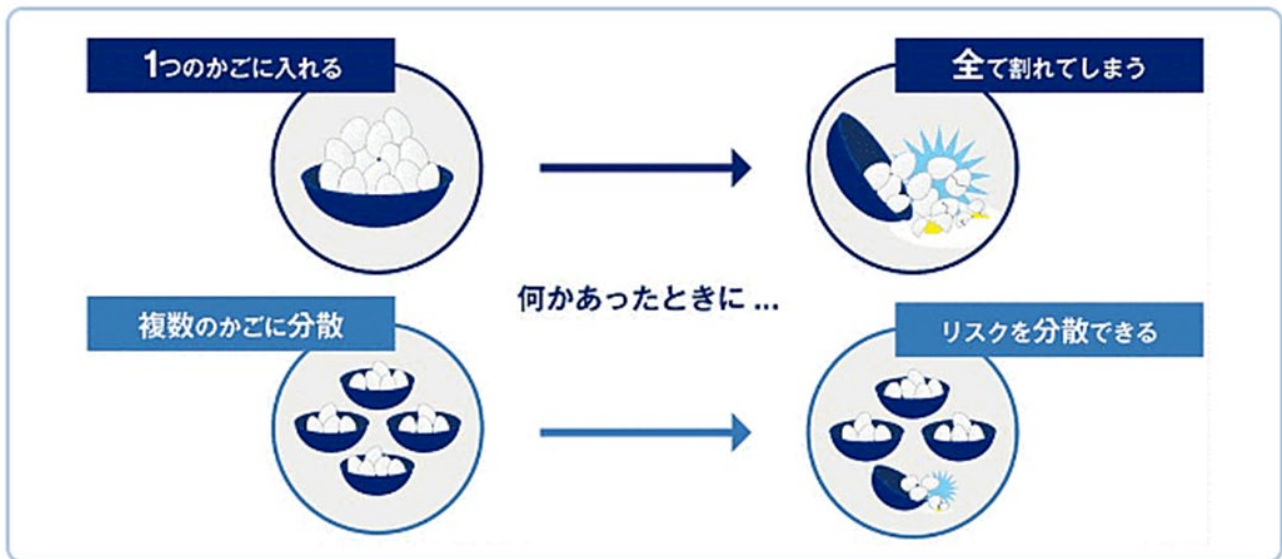
**影響:** ユーロ圏全体の信用不安を引き起こし、世界中の金融市場に影響を与えた。

**データ:** 2010年4月~6月にかけてギリシャ株式市場は約30%下落。ユーロは対ドルで約7%下落。

## 3. ヘッジファンドの役割

- では、ヘッジファンドはどのようにしてリスクを分散させるのでしょうか？

政治的不安定性や、市場の変動に対するヘッジファンドの対応策を考えます。



注：資料出所はGPIFホームページ

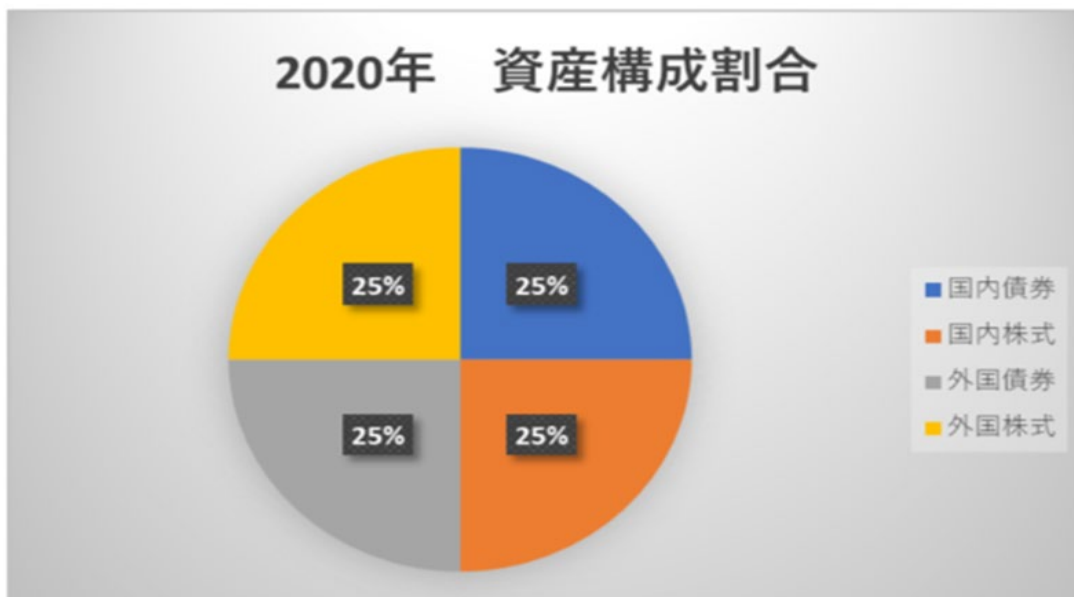


表 6. 資料出所はGPIFホームページ

- 以上の GPIF の例で分かるように、しっかりと分散投資をしてリスクを管理するヘッジファンドは、トランプ前大統領の銃撃事件のような予測不可能な事態に対して強みを発揮します。

#### 4. 具体的なヘッジファンドの事例

- 上記 2. の時、ヘッジファンドがどのようにして市場の変動を乗り越えてきたかを紹介します。

##### 1. ブレグジット (Brexit)

**通貨ヘッジ:** 多くのヘッジファンドは、ポンドの急落に対するリスクを軽減するために、オプションや先物を利用して通貨ヘッジを行いました。

**ショートポジション:** 市場のボラティリティを予測し、英国株やポンドに対するショートポジションを取り、利益を上げました。

**グローバル分散投資:** 英国市場への依存度を減らし、他の地域や資産クラスへの投資を強化しました。

## 2. アメリカの政府閉鎖

**マクロ戦略:** 政府閉鎖の影響を予測しマクロ経済戦略を通じ市場の動きに対応。特に政府支出に依存するセクターをショート。

**分散投資:** 経済活動の停滞に対するリスクを軽減するために、他の資産クラス（例えば、金や債券）への投資を増やしました。

**ディフェンシブ投資:** 経済変動に強いディフェンシブ株（例えば、消費財やヘルスケア）の比率を高めることでリスクを管理。

## 3. トランプ政権の貿易戦争

**ショートポジション:** テクノロジー株や中国市場へのエクスポージャーが高い企業のショートポジションを取り、リスクを管理。

**デリバティブの活用:** オプションや先物を利用して、急激な市場変動に対するヘッジを実施。

**アービトラージ戦略:** 市場の非効率性を利用したアービトラージ戦略で利益を上げ、貿易戦争の影響を最小限に抑える。

## 4. ギリシャの債務危機

**クレジットデフォルトスワップ（CDS）:** ギリシャ国債のデフォルトリスクに対するヘッジとして、CDSを購入。通貨ヘッジ: ユーロの下落に対するリスクを管理するために、為替オプションや先物を活用。

**マルチストラテジー:** クレジットリスク、通貨リスク、株式市場リスクを分散させるために、マルチストラテジーを採用。

## 5. 今後の見通しと戦略

- 現在の市場環境において、ヘッジファンドは多様な戦略を駆使してリスクを管理し、収益を追求しています。

\* インフレーションや金利上昇への対応、

- \* 地政学リスクへの備え、
- \* マルチストラテジーアプローチ、
- \* アクティブ管理とアルゴリズム取引

が重要な要素となります。

- これらの戦略を組み合わせることで、ヘッジファンドは市場の変動に対して柔軟に対応し、投資家に対して安定したリターンを提供することが可能となります。

## 5—2. 今後の見通しと戦略 インフレーションや金利上昇への対応

### インフレーションへのヘッジ

- コモディティ投資: インフレーションが高まる局面では、ゴールドや石油などのコモディティへの投資が効果的です。
- インフレーション連動債: インフレーションに連動する債券（TIPS など）を購入することで、インフレーションリスクを軽減します。

### 金利上昇への対応

- 短期の債券: 金利上昇局面では、長期債券の価格が下落するリスクを避けるために、短期の債券を選択します。
- 変動金利債券: 変動金利債券（FRNs）は、金利が上昇するとクーポンも上昇するため、金利リスクをヘッジするのに適しています。

## 5—3. 今後の見通しと戦略 地政学リスクと政治的不安定性への対応

### 地域分散

- 新興市場と先進国のバランス: 投資を多地域に分散することで、特定の地域の政治的不安定性の影響を軽減します。
- ディフェンシブセクター投資: 消費財やヘルスケアなどのディフェンシブセクターに投資することで、政治的な変動に対するポートフォリオの安定性を高めます。

### デリバティブの活用

- オプションと先物: 特定の市場やセクターに対するリスクをヘッジするために、オプションや先物を利用します。

- ・ クレジットデフォルトスワップ（CDS）：政治的不安定性が高い国や企業のクレジットリスクをヘッジするために、CDS を購入します。

## 5—4. 今後の見通しと戦略 マルチストラテジーとリスク管理

### マルチストラテジー・アプローチ

- ・ ロング/ショート戦略：上昇が見込まれる株を買い、下落が予想される株をショートすることで、市場全体の動向に依存しないリターンを追求します。
- ・ マーケット・ニュートラル戦略：ロングポジションとショートポジションを均衡させることで、市場全体の変動に対するリスクを最小限に抑えます。

### リスク管理

- ・ ストレステスト：様々なシナリオを想定したストレステストを実施し、最悪の事態に備えます。
- ・ 動的ポートフォリオ調整：市場の状況に応じて、ポートフォリオの構成を定期的に見直し、リスクとリターンのバランスを最適化します。

## 5—5. 今後の見通しと戦略 アクティブ管理とアルゴリズム取引

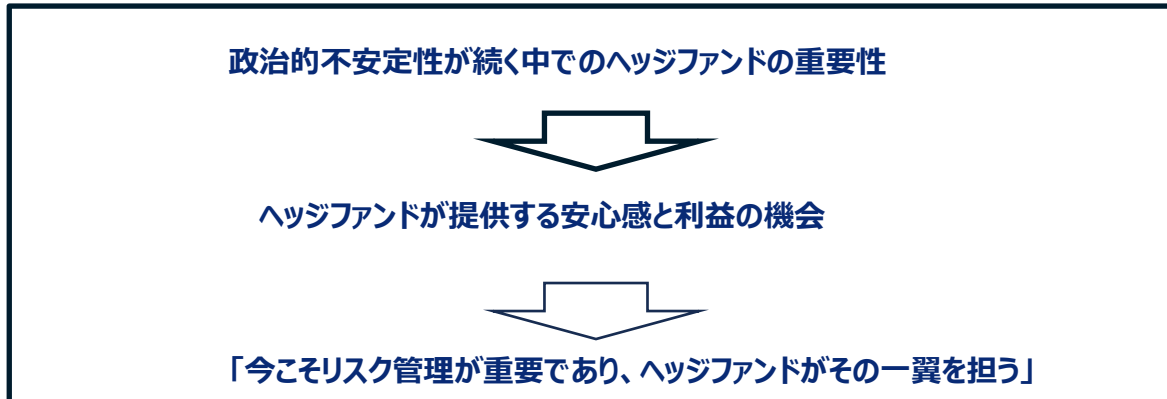
### アクティブ管理

- ・ アクティブファンドマネージメント：市場の変動に迅速に対応するために、アクティブなファンドマネージメントを行います。これは、パッシブ投資に比べて高いリターンを目指すために有効です。
- ・ リサーチと分析：綿密なリサーチとデータ分析に基づいた投資判断を行い、情報の非対称性を利用して収益を上げます。

### アルゴリズム取引

- ・ 高頻度取引（HFT）：高頻度取引を利用して、市場の微細な価格変動を捉え、短期間で利益を上げる戦略です。
- ・ 量的取引（Quant Trading）：数学的モデルや統計手法を駆使して、投資機会を特定し、リスクを管理します。

## 6. 結論



ここで重要な役割を果たすのがヘッジファンドです。ヘッジファンドはリスクを分散させ、予測不可能な事態に対する備えをすることで、投資家の資産を守ります。トランプ前大統領の銃撃事件のような予期せぬ事態に対しても、ヘッジファンドの強みは発揮されています。

例えば、私どもがご紹介するヘッジファンドは、過去の市場の変動を乗り越えてきました。具体的な成功事例として、多くのお客様の利益を守ってきた実績を紹介します。新たな投資機会も鋭意検討中です。

米ドルベースでの諸経費控除後の設定来リターン（2024年は2024年7月までの分です）

暦年	ファンド1	ファンド2	ファンド3	ファンド4	ファンド5	ファンド6	ファンド7	ファンド8
2024	1.60%	17.79%	7.11%	2.53%	1.42%	9.30%	-1.26%	3.10%
2023	3.81%	18.57%	5.24%	58.16%	12.26%	2.75%	0.52%	7.03%
2022	4.04%	-13.92%	5.24%	-34.48%	-11.77%	1.24%	25.62%	10.41%
2021	2.93%	22.87%	10.43%	-21.08%	3.22%	4.31%	2.41%	4.45%
2020	9.97%	13.90%	-9.82%	39.16%	19.99%	10.84%	13.43%	18.39%
2019	5.28%	21.47%	12.23%	20.91%	0.46%	12.92%	10.93%	12.82%
2018	3.53%	-6.81%	3.52%	18.92%	-9.87%	6.14%	21.91%	6.92%
2017	5.34%	28.86%	11.28%	11.81%	14.96%	7.79%	2.13%	7.48%
2016	7.55%	14.80%	11.78%	14.68%	-0.25%	-5.79%	5.27%	7.76%
2015	8.81%	7.57%	13.56%	-	9.73%	6.97%	13.93%	-
2014	5.19%	17.12%	8.95%	-	13.78%	17.23%	14.31%	-
2013	7.26%	34.00%	13.48%	-	26.19%	-	-	-
2012	3.68%	21.52%	7.72%	-	14.46%	-	-	-
2011	6.44%	-3.54%	27.75%	-	-2.06%	-	-	-
2010	6.41%	9.90%	19.10%	-	5.47%	-	-	-
2009	20.34%	36.18%	-	-	22.27%	-	-	-
2008	5.71%	-	-	-	-7.03%	-	-	-
2007	-	-	-	-	20.96%	-	-	-
2006	-	-	-	-	22.47%	-	-	-

現在の市場環境を踏まえ、今後の投資戦略についても説明させていただきます。予測不可能な事態に対するリスク管理の上に、私どものご紹介するヘッジファンドが提供する安心感と利益の機会をご覧ください。

（金融商品開発部 池畑直人）

# みんなの広場

財務省で 2021 年から 3 年間、為替政策や国際交渉を担った神田真人財務官（59 歳）が 7 月 31 日付で退任しました。円安が進んだ局面では投機筋の動きをけん制する発言を繰り返し、市場から動向が注目されてきました。神田氏は政府・日本銀行が 2022 年 9 月、急激な円安を是正するため 24 年ぶりに円買い・ドル売りの為替介入の実務を指揮しました。介入直前には新聞記者団に「スタンバイな状態である」と明かし、いつでも介入できると強く示唆していました。実際の介入は同年 10 月と今年の 4～5 月、6 月～7 月にも行い、在任中の介入総額は約 25 兆円（推定）にも上りました。神田氏の一連の発言は市場関係者の間では、「財務省はいつでも目を光らせている。」とのメッセージとなって受け止められていました。

介入といえば、「ミスター円」と呼ばれた榊原英資氏が強い記憶として思い出されます。

筆者が 30 歳になる年の 1995 年 4 月 19 日、1973 年に変動相場制が導入されて以来、円の最高値となる 1 ドル = 79 円 75 銭を記録しました。「超円高」の阻止・是正が注目された局面で榊原氏は 6 月に通貨政策責任者の 1 人である大蔵省国際金融局長（現・財務省国際局長）に抜擢され介入の陣頭指揮を取ることになりました。当時、米国はクリントン政権下で財政赤字を是正するため強烈なドル安政策を取っていました。榊原氏は昔から親しかったローレンス・サマーズ財務次官と連絡を取り「ともかく日本は為替介入するから、そっちもやってくれ」と日米が協調介入し、日銀は当時、史上最大規模の為替介入を行いました。その結果、6 ヶ月ほどで為替レートは 1 ドル = 100 円台に戻りました。短期間で円高を戻し、ドルも強くなりました。米国にとっては画期的な介入であったため、米紙ニューヨーク・タイムズが「ミスター円」とあだ名をつけたそうです。

ちなみに、この円高記録は 16 年後の 2011 年 10 月 31 日に破られることになりましたが、このときは 1 ドル = 75 円 32 銭で円の史上最高値を記録。現在もこの記録は更新されていません。

余談ですが、榊原氏は女性職員から人気があったようです。それは主に以下の 3 つの理由からだそうです。

1. 面倒見が良いが詮索はしない。
2. 用が済んだらさっさと帰る。
3. ときに奇抜なファッションで目を楽しませてくれる。

なるほど、わかる気がしますね。

（営業推進部 石津）



# ヘッジおじさんのつぶやき

絆レポートも足掛け 2 年になります。四半期発行の為、第 8 号で丸 2 年。今回は第 9 号。この 2 年間で、弊社と協働して高い山を登る覚悟をしていただいた IFA の皆様は、11 者。その中には弊社の登録申請で結ばれた絆もあります。厚く御礼申し上げます。まだまだ、頑張りますので、叱咤激励よろしくお願ひします。

「ヘッジおじさんのつぶやき」は、一般投資家向けには弊社 HP のブログ、YouTube で、IFA 様には、この絆レポートでつぶやいています。何を呟いているのか、それは煎じ詰めれば「ヘッジファンド愛」です。この AS 証券に入社するまでは、ファンドはどれも同じ、投資家は「思う壺に嵌るだけ」と思っていました。金融の世界はお金持ちだけが、儲かる世界だからです。

ヘッジファンドに出会って、ファンドの存在意義を強烈に感じました。何故なら、ファンドマネージャーは自分の得意な運用戦略や手法で闘っているのです。ヘッジファンドの存在意義はどんな相場環境でも絶対リターンを上げること。投資家に対して無言で主張するので、それを知った新たな投資家は、このファンドに投資して見たいと渴望する。

証券の営業マンは、ファンドの存在意義は問わず、会社の指示でお客様にセールスするのです。せめて、大切なお客様のためなら、ファンド内容をしっかり読んでください。あなたが勧めるのであれば、投資家の皆様はあなたを信じて購入するのですから。

ヘッジファンドはいかがわしい金融商品だ、とある証券会社の方に言われたことがあります。その言葉は 2 年たった今でも蘇ります。勧誘している弊社の営業マンや提携しておられる IFA 様にいかがわしいものを売らせているのか？侮辱され、憤りが収まらず、その証券会

社に怒鳴り込んでやろうと思いました（実行してませんよ）。しかし、世間はそう思うのだらう、と思いました。おじさんも知らないときは、同じような印象を持ちましたから。口コミでもいい。まずは、興味を持ってもらおう。「継続は力なり」といいますので。

世界はそうではありません。国際金融危機以後、ヘッジファンドはグローバル資本主義経済にとって欠かせない力、と認めているのです。金融行政機関も正会員である IOSCO（証券監督者国際機構）（通称、イオスコ）では、2年に1度、世界のファンド事情を調査し、報告書を作成しています。そのサマリーで、2008年の国際金融危機を裏方で支えてきたのはヘッジファンドである、という報告をまとめています。2546本のヘッジファンドが国際金融危機を早期に回復させた功労者のように。一国の金融行政当局者は、自国の金融機関を堅守することが第一義で、他国はどうでもよかったのです。リーマン・ブラザーズの救済は、各国に打診されていましたが、どこも名乗り出ませんでした。しかし、そのすべての不良資産は、当時のヘッジファンドが吸収し、処理されていきました。ハゲタカはきれいに処理しましたよ。ドルが大暴落しましたが、世界恐慌にはならなかったのです。

「ハゲタカなどと言っている時代ではない」と、おじさんは思います。金融は高度に世界経済を動かしています。そして、そのヘモグロビンはドルという基軸通貨です。ヘッジファンドは国籍を待たない巨大な機関投資家であり、キラー細胞のように、サステイナブルファイナンスを実行するマネーパワーを持っているのです。だから、日本は資産運用力を強化する政策を進めているのでしょう。「いかがわしい」といわれた時代は終わりました。それを平気で言う金融マンはもう原始人の部類です。



近江商人と三方よし（伊藤忠商事より）  
弊社の IFA ビジネスも三方よし

## 発行者の素顔

2024年8月発行

発行者・編集 エアーズシー証券株式会社 営業推進部

郵便番号 103-0025

東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 1 階

電話番号 03-6225-2747

登録番号 関東財務局長（金商）第 33 号

加入協会 日本証券業協会

ホームページ <https://www.airsea.co.jp>

YouTube 公式チャンネル「ヘッジおじさんのチャンネル」

<https://www.youtube.com/channel/UCKPX1rz6-8BpKT5noIDIOaQ>

- 本資料は、エアーズシー証券株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 本資料は、信頼できる情報に基づき作成しておりますが含まれる情報の正確性や完全性、また使用された市場情報源の正確性や信頼性を保証するものではありません。
- 本株式の過去の運用実績に関する分析の提供は将来の運用成績を示すものではありません。
- 本株式のお取引は、金融商品取引法第37条の6の規定の適用はなく、クーリング・オフ（書面による契約の解除）の対象になりません。
- 本株式のお取引は、特定口座の適用外となり、確定申告を要します。
- エアーズシー証券株式会社における本株式のお取引は、私募の取扱いによります。
- 本株式の取得のお申込みを行う場合には、Information Memorandum及びその抄訳である投資説明書（適格機関投資家以外のお客様には、併せて契約締結前交付書面）をお渡し致しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- お申込みの際に「外国証券取引口座約款」に基づく取引口座の開設が必要となります。
- エアーズシー証券株式会社は、当資料の分析又はこれに関連した分析の使用により生じた如何なる損失にも責任を負いません。
- エアーズシー証券株式会社の許諾無しに、当資料の一部又は全部を引用または複製することを禁じます。